

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 エン・ジャパン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4849 URL http://corp.en-japan.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 孝二  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 藤野 孝 (TEL) 03 (3342) 4506  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,486	16.3	1,616	26.1	1,826	34.5	2,317	187.4
25年3月期第2四半期	6,435	-	1,281	-	1,358	-	806	-

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,312百万円( 45.3%) 25年3月期第2四半期 903百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	104.43	-
25年3月期第2四半期	36.38	36.36

- (注) 1. 25年3月期第2四半期における対前年同四半期増減率については、平成24年3月期に決算期を変更したことにより、比較対象期間の月度が異なるため記載しておりません。  
 2. 26年3月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。  
 3. 当社は平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割いたしました。このため、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,143	16,082	79.5
25年3月期	18,463	15,278	82.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 16,004百万円 25年3月期 15,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	1,950.00	1,950.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	21.50	21.50

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割し、単元株式数を100株といたしましたので、26年3月期(予想)期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。  
 なお、25年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	20.2	3,200	15.0	3,280	15.5	2,900	87.6	130.68

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) en-Asia holdings Limited  
Navigos Group, Ltd.

(注) なお、特定子会社の異動には該当しませんが、株式会社シーベース他5社を第1四半期連結会計期間より連結子会社としております。詳細は、添付資料P. 5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	24,641,800株	25年3月期	24,641,800株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	2,450,000株	25年3月期	2,450,000株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	22,191,800株	25年3月期2Q	22,164,000株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、単元株式数を100株といたしました。期末発行済株式総数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)につきましては、株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
(重要な後発事象)	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は平成25年5月10日の「連結決算の範囲の変更に関するお知らせ」にて公表した通り、当期より海外関係会社7社、国内関係会社1社を新たに連結の範囲に含めております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果が顕在化する中で、依然としてリスクは含有しているものの、企業収益の改善が家計所得や投資の増加に繋がり、本格的な景気回復に向かうことが期待されております。

雇用環境は、2013年9月の有効求人倍率が0.95倍となる等、改善傾向が続いております。

このような状況の中、当社は主力の「[en]社会人の転職情報」において、新規顧客への販売を強化したほか、人材紹介サービス「[en]PARTNER」の本格展開を開始し、組織・人員体制の拡充を図りました。

また、求職者へ当社の認知度を高めるために、東京・名古屋・大阪の主要路線に駅広告・車両広告を出す等、積極的なプロモーションを行いました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,486百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益は1,616百万円（前年同期比26.1%増）、経常利益は1,826百万円（前年同期比34.5%増）、四半期純利益は2,317百万円（前年同期比187.4%増）となりました。

#### ① 中途採用事業

「[en]社会人の転職情報」は、景況感の改善に伴い、掲載課金型求人広告のニーズが高まったことから、前年同期に比べ掲載件数が増加いたしました。成功報酬型商品においては、重点サービスと位置付けている人材紹介サービス「[en]PARTNER」の本格展開を7月から開始し、当第2四半期から入社実績がスタートしております。これらの結果、「[en]社会人の転職情報」は前年同期を上回る売上高となりました。

「[en]派遣のお仕事情報」は、企業のニーズが高まったことを受け、顧客である派遣会社の投稿意欲が改善したことや地方拠点において重点的に拡販を行った結果、掲載事業所数が増加し、前年同期を上回る売上高となりました。

「[en]転職コンサルタント」は、人材紹介マーケットが回復基調にあることや、顧客である人材紹介会社への拡販が進んだことから、前年同期を上回る売上高となりました。

「[en]チャレンジ!はた☆らく」は、若手未経験の販売系職種やオフィス事務職種の採用ニーズが高かったことから計画を上回る売上高となりました。

「[en]ウィメンズワーク」は、計画をやや下回る売上高となりましたが、着実に掲載案件数が増加いたしました。

エンワールド・ジャパン株式会社は、IT、金融、製造業領域を中心に顧客企業の人材採用意欲が高まったこと、積極的な営業活動を行ったこと等から、前年同期を上回る売上高となりました。

また、当期から新たに海外7社を連結対象といたしましたが、一部の国で景気悪化の影響を受けたこと等から、計画を下回る売上高となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,914百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は1,905百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

## ② 新卒採用事業

平成26年3月卒業予定学生の採用マーケットは終盤戦に入っており、平成27年3月卒業予定学生の採用に向けた企業の採用計画、採用準備が本格化しております。

このような中、12月に予定されている「[en]学生の就職情報2015」のグランドオープンに向けて、積極的な営業活動及びプロモーション活動を行いました。

また、今後新卒採用の手法が多様化することを見据えて、留学生や体育会学生等、ターゲットを絞ったイベント型の成功報酬商品を新たにリリースいたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は323百万円（前年同期比17.4%減）、営業損失は333百万円（前年同期は215百万円の営業損失）となりました。

## ③ 教育・評価事業

定額制研修サービス「エンカレッジ」は、4月に新規会員企業数が増加したこと、新たに大阪でサービスを開始し、会員企業数が増加したこと等から前年同期を上回る売上高となりました。また、今期から新たに連結対象となった株式会社シーベースの業績が順調に推移し、計画を上回る売上高となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は271百万円（前年同期比79.3%増）、営業利益は44百万円（前年同期比78.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,679百万円増加し、20,143百万円となりました。これは、第1四半期連結会計期間から連結の範囲を変更したこと等により、のれんが2,152百万円、現金及び預金が850百万円増加し、保有株式の売却等により投資有価証券が1,891百万円減少したこと等が主な要因であります。

また、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ875百万円増加し、4,060百万円となりました。これは未払法人税等が1,092百万円増加したこと等が主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ804百万円増加し、16,082百万円となりました。これは、当四半期純利益の計上と、配当金の支払いにより利益剰余金が1,752百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1,036百万円減少したこと等が主な要因であります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は、1,073百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益3,824百万円があり、税金等調整前四半期純利益の減算項目として、投資有価証券売却益1,998百万円、為替差益130百万円等を計上し、法人税等の支払額が505百万円あったこと等が主な要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した金額は、64百万円（前年同四半期比75.5%減）となりました。これは投資有価証券の売却による収入2,396百万円があり、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,933百万円、無形固定資産の取得による支出が369百万円あったこと等が主な要因であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、455百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。これは、配当金の支払額433百万円があったこと等が主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年5月16日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したNavigos Group, Ltd. と、重要性が増したen-Asia holdings Limitedを連結の範囲に含めております。

また特定子会社には該当しませんが、新たに株式を取得したNavigos Group Joint Stock Company と、重要性が増した株式会社シーベース、en world Singapore Pte. Ltd.、en world Hong Kong Limited、Calibrate Recruitment Pty Ltd.、en world Korea Co., Ltd.を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,349,167	11,199,727
受取手形及び売掛金	1,340,466	1,630,181
その他	626,237	585,668
貸倒引当金	△19,577	△10,518
流動資産合計	12,296,293	13,405,058
固定資産		
有形固定資産	497,337	507,912
無形固定資産		
のれん	1,301,141	3,454,079
その他	793,143	1,087,078
無形固定資産合計	2,094,284	4,541,157
投資その他の資産		
投資有価証券	2,289,226	397,532
その他	1,287,726	1,294,465
貸倒引当金	△880	△2,692
投資その他の資産合計	3,576,072	1,689,304
固定資産合計	6,167,694	6,738,373
資産合計	18,463,988	20,143,432
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,697	25,362
未払法人税等	469,094	1,561,202
賞与引当金	501,889	525,419
その他	1,540,840	1,733,382
流動負債合計	2,553,522	3,845,366
固定負債		
長期未払金	102,850	137,839
リース債務	41,039	23,388
資産除去債務	55,497	54,007
繰延税金負債	432,674	—
固定負債合計	632,062	215,235
負債合計	3,185,584	4,060,602



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	986,144	986,144
資本剰余金	1,452,708	1,452,708
利益剰余金	15,219,016	16,971,244
自己株式	△3,438,187	△3,438,187
株主資本合計	14,219,682	15,971,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,042,266	5,334
為替換算調整勘定	16,455	27,215
その他の包括利益累計額合計	1,058,722	32,550
少数株主持分	—	78,368
純資産合計	15,278,404	16,082,829
負債純資産合計	18,463,988	20,143,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,435,315	7,486,470
売上原価	923,541	866,665
売上総利益	5,511,774	6,619,805
販売費及び一般管理費	4,230,033	5,003,401
営業利益	1,281,741	1,616,404
営業外収益		
受取利息	9,321	1,467
受取配当金	32,500	37,500
持分法による投資利益	34,091	45,270
為替差益	—	130,200
雑収入	6,522	4,758
営業外収益合計	82,436	219,196
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	4,764
為替差損	3,819	—
雑損失	1,809	3,858
営業外費用合計	5,629	8,623
経常利益	1,358,548	1,826,977
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,998,097
特別利益合計	—	1,998,097
特別損失		
固定資産除却損	1,398	197
投資有価証券評価損	16,926	—
特別損失合計	18,325	197
税金等調整前四半期純利益	1,340,222	3,824,877
法人税、住民税及び事業税	497,608	1,581,644
法人税等調整額	36,294	△67,325
法人税等合計	533,902	1,514,319
少数株主損益調整前四半期純利益	806,320	2,310,557
少数株主損失(△)	—	△6,972
四半期純利益	806,320	2,317,530

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	806,320	2,310,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,260	△1,036,931
為替換算調整勘定	—	609
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,872	38,483
その他の包括利益合計	97,388	△997,838
四半期包括利益	903,708	1,312,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	903,708	1,319,691
少数株主に係る四半期包括利益	—	△6,972

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,340,222	3,824,877
減価償却費	284,416	231,753
のれん償却額	85,016	97,819
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,032	△7,246
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92,046	18,580
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,826	△25,399
受取利息及び受取配当金	△41,821	△38,967
為替差損益 (△は益)	3,819	△130,200
持分法による投資損益 (△は益)	△34,091	△45,270
投資事業組合運用損益 (△は益)	△855	4,764
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,998,097
投資有価証券評価損益 (△は益)	16,926	—
固定資産除却損	1,398	197
売上債権の増減額 (△は増加)	45,529	△167,839
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,691	△16,334
未払金の増減額 (△は減少)	△372,967	△83,104
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	30,052	△9,497
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	43,834	△36,755
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△23,796	△153,574
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	48,539	33,119
小計	1,508,785	1,498,825
利息及び配当金の受取額	94,302	79,617
法人税等の支払額	△239,557	△505,390
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,363,529</b>	<b>1,073,052</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	150,000	—
有形固定資産の取得による支出	△28,299	△62,088
無形固定資産の取得による支出	△229,602	△369,123
投資有価証券の取得による支出	—	△22,450
投資有価証券の売却による収入	22,820	2,396,334
関係会社株式の取得による支出	△131,359	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,933,255
敷金及び保証金の差入による支出	△381	△84,530
敷金及び保証金の回収による収入	1,579	12,986
保険積立金の積立による支出	△6,456	△6,456
貸付けによる支出	△45,621	—
貸付金の回収による収入	2,906	3,851
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△264,415</b>	<b>△64,732</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	1,333	—
配当金の支払額	△408,122	△433,175
リース債務の返済による支出	△16,341	△22,094
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423,130	△455,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	141,030
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	675,980	694,081
現金及び現金同等物の期首残高	7,665,613	10,349,167
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	20,443	156,478
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,362,036	11,199,727

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,861,105	391,544	151,314	6,403,965	31,350	6,435,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,861,105	391,544	151,314	6,403,965	31,350	6,435,315
セグメント利益又は損 失(△)	1,510,920	△215,183	24,789	1,320,527	△38,785	1,281,741

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない、エン・ウエディング及びFINEであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	中途採用 事業	新卒採用 事業	教育・評価 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,907,156	323,325	255,987	7,486,470	—	7,486,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,175	—	15,298	22,474	△22,474	—
計	6,914,332	323,325	271,286	7,508,944	△22,474	7,486,470
セグメント利益又は損 失(△)	1,905,696	△333,507	44,215	1,616,404	—	1,616,404

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、Navigos Group, Ltd. の株式を取得したため、「中途採用事業」セグメントののれん金額に、重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は2,020,747千円としておりますが、これは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

### (重要な後発事象)

#### 株式取得による子会社化

当社は平成25年11月5日に、タイの人材紹介会社であるThe Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd. (以下、R&C社) の株式を取得し、当社の子会社とする株式譲渡契約を締結致しました。

#### (1) 子会社化の目的

当社は、今後の更なる成長を実現するため、海外展開を重点施策の一つとして取り組んでおります。2010年に子会社化した、グローバル企業向け人材紹介サービスを展開しているエンワールド・ジャパン株式会社のリソース及びノウハウを活用して、現在アジア・太平洋エリアに7つの拠点を開設しております。

今回新たに進出するタイは、ASEAN加盟国の中でも経済規模が大きく、GDPは2番目の水準です(2011年の名目GDP、出所：JETRO)。また、同国企業の管理職の給与水準は周辺諸国と比べて高い水準であり、人材紹介マーケットも成長を続けております。

R&C社は、タイにおいて2002年から人材紹介業を中心にビジネスを展開しております。同社は管理職、特にエグゼクティブを含む高年収層の人材紹介に強みを持ち、優秀な人材を有しております。

同国の経済成長に加えて、日系企業やグローバル企業が数多く進出していることから、エン・ジャパングループが持つ顧客資産・ノウハウとのシナジーも見込まれ、今回の資本参加により今後もR&C社の高い成長が期待できると考えております。

アジア太平洋エリアを中心とした海外展開は当社の重要施策の一つであることから、今後も同エリアへ積極的に展開し、更なる成長を目指してまいります。

#### (2) 異動の概要

当社と連結子会社であるen-Asia holdings Ltd. 及び2013年11月に設立予定の子会社、En Holdings (Thailand) Ltd. (仮称) の3社により、発行済株式総数の73.99%を2段階に分けてR&C社の各株主から取得する予定です。

なお、本件株式取得に伴い、R&C社の代表者であるCarl Denny氏が保有するThe Capstone Group Holding (Thailand) Ltd. 及びTopTalent Asia Ltd. の事業資産をR&C社に移管する予定です。

このため、「(4) 買収する会社の名称、事業内容、規模」の③規模に記載する売上高は、当該3社の合算値となります。

(3) 株式取得の主な相手先の名称

The Capstone Group Holding (Thailand) Ltd.  
Carl Denny

(4) 買収する会社の名称、事業内容、規模

- ① 商号 : The Capstone Group Recruitment and Consulting (Thailand) Ltd.  
② 主な事業の内容 : 人材紹介業、人材派遣業  
③ 規模 (2012年12月期)  
資本金 : 4,000千バーツ  
売上高 : 48,000千バーツ

(5) 株式取得の時期

株式譲受契約調印 : 平成25年11月5日  
本件株式取得完了日 : 平成25年11月末予定

(6) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- ① 取得株式数 29,596株  
② 取得価額 2.2百万米ドル (約215百万円)  
③ 取得後の持分比率 73.99%

(7) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金によっております。